

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	阪本織布株式会社	代表者	阪本壮一	法人・事業所の特徴	自然に囲まれた空気の良い環境の中で、一人一人に寄り添ったケアを心がけること、笑顔を絶やさないこと、挨拶ができること、利用者様も家族様も職員も楽しく生活ができること。地域の催しものに積極的に参加したり、施設行事にお招きしたりすることで、地域との交流を大切にしながら施設運営であること。敷地内にある農園での野菜作りや収穫、それを使つての調理で季節を味わって頂いたり、足湯や散歩、買い物等の外出レクで気分転換を図っている。家族様にも季節ごとに行うイベントには声をおかけして一緒に楽しんで頂いている。小規模多機能としての機能を十分に生かした柔軟な取り組みを行っていること。常に職員の言葉使いや身だしなみの改善に努め、社内研修を計画的に実施し、今後も継続した職員育成の場を作り、一人一人の力を高めてサービス向上に努めている。
事業所名	ちいさなぶどうの家 2 番館	管理者	片岡大輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	3 人	人	人	人	人	人	人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	日々のサービス提供において安全確保はもちろんのこと、人権の尊重やプライバシー保護を念頭に置き、利用者様とコミュニケーションを図る。	利用者様の日々の状態を把握することで、事故やヒヤリハットを減らすよう心掛けた。	職員の取り組みやモチベーションの向上の為、目標を高め設定し、より具体的に取り組めばよいと思う。	日々のサービス提供において安全確保はもちろんのこと、人権の尊重やプライバシー保護を念頭に置き、利用者様とコミュニケーションを図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	定期的に掃除は行っており、普段定期的に掃除出来ない箇所はその日のフロアの状況を見て掃除を行うように今後行うこととする。	定期的な清掃を心がけてはいるが、実施出来ない時がある。前年度よりは普段清掃できていない箇所の清掃は行えた。	施設内部を見わたすことは少ないが、居心地が良いのはわかる。感染症など大変だと思うが清潔保持に努めてほしい。環境はいいと思う。	定期的に掃除を行い、普段定期的に掃除出来ない箇所はその日のフロアの状況を見て掃除を行うように今後行うこととする。利用するすべての方に不快な思いをさせないようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	現在もコロナ感染予防の為、イベント等頻繁には行えておりませんが、再開され次第、家族様に予定の発信を行う。	イベントなど徐々に再開され可能な限り実施した。	地域とのかかわりはとてもよくされているのを感じる。早くコロナ前のように頻繁に行き来できることを望む。	今後も継続して感染予防に努め、可能な限りイベント等を実施し、家族様や地域の方に予定の発信を行う。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	現在もコロナ感染予防の為、地域の集まりなど頻繁には行えておらず、再開されましたら今後も継続し地域の集まりや行事に参加していく。	以前よりも積極的に地域に出向き行事などに参加した。	地域に出向いてのイベントなどがとても増えているのが分かる。	今後も継続的に感染予防に努め、積極的に地域の集まりや行事に参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も事業所内での取り組みや活動の報告をし、他の地域での行事活動や取り組みの情報を得る。	施設の新聞、ホームページ等で普段の皆様の様子を発信出来ていたと思う。	開催時期や方法など、色々と変えていながら良い会議にしてほしい。 事例検討なども増やしていければよい。	今後も事業所内での取り組みや活動の報告をし、他の地域での行事活動や取り組みの情報を得る。皆様から頂いた情報を活用する。
F. 事業所の 防災・災害対策	引き続き避難訓練の実施と防災設備の周知が出来ていない人には勉強会など実施し周知に努める。	定期的に避難訓練等に取り組んでいた。	防災訓練に参加したことはないが、避難訓練の通知は目にしたことがある。 訓練の予定などをもっと地域に発信し、地域の方も参加できるのが望ましい。	今後も引き続き避難訓練の実施と防災設備の周知が出来ていない人には伝達研修を行い周知徹底に努める。地域の方と共に防災意識の向上に努める。

